

R6.11.20全員協議会の協議内容について

現状維持 15名**■民意の反映が必要**

- ・幅広い年代や小さな意見、多様な市民ニーズに応え、市民の意見を議会に反映することが重要。
- ・民意を反映させるためには議員は多い方が良い。
- ・定数を削減すると、特定の支持基盤のある人のみが当選して、議会の構成の考え方が偏ることとなり、多様な意見は反映出来ない。
- ・定数を削減すると、地域における少数意見を排除することになりかねない。
- ・議会の議席は、議員の身分や特権ではなくて、市民の代弁者としての役割だと痛感している。

■判断基準がない

- ・議員定数に関する指標や基準がない場合、個人の価値感や組織の都合による議論になる。基準や指標がないまま変更すべきではない。
- ・人口が減少しているから議員も減らすべきというのは、明確な根拠や現状を把握しないで言っているケースがある。人口減少のみで議員の減少を判断すべきではない。
- ・基準でははかれない地理的な条件や苫小牧市の抱える様々な要素もあって、機械的には判断しづらい。

■人材の発掘。なり手不足対策

- ・女性や若者など、新たに議員にチャレンジする人材の発掘が必要。今の門の広さを今この時期に狭めるということは出来ない。

■財政負担にはならない

- ・市税収入や一般財源の推移は微増している。議員報酬が過剰な財政負担になっているということでもなく、議員定数を減らす必要はない。
- ・人口は減少しているが市税収入は、維持、あるいは逆に上がってきている。一方、職員は減らしてきているが、職員費はこの10年間ずっと維持してきている。そういう中において、議員を減らすべきか考えると、一概に判断は難しい。

■議会の活性化が必要

- ・定数を削減すると議会議論が深まらないおそれがある。
- ・常任委員会を活性化する必要がある。
- ・市民の負託にこたえるという意味では、まだまだ議員が力をつけて、地域の声を吸い上げて、充実した委員会、本会議にして取り組むべき。
- ・人口が増えていくようなまちづくりをしていこうということで議会議論してきた。これから魅力あるまちにするために議会を活性化していくのが議員の役目。

現状維持 15名

■社会的要素から様子を見るべき

- ・企業進出等の要素もあり、人口減少の幅が少なくなってきたという現象が起きている。
- ・子供の数は激減しているが、保育園幼稚園の施設は多様化する保育ニーズに伴って増加していく。議会も同じ側面があるのではないか。

■過去の実績から

- ・2名削減されたとき議論が深まらないという感想を持った時期もあった。
全会派が参加するような委員会であれば、活性化しないと思う。

■数値的根拠等に基づく

- ・憲法理念と民主主義に基づく慎重な議論が必要であり、現行の人数は適切。
- ・人口に応じた数値データからも現状維持が妥当。

定数減 11名

■議会費の削減が必要

- ・人口減少、税収低下など見込まれる昨今の事情があり、定数削減は市全体の行財政改革につながる。
- ・視察の費用など、議員に関わる経費についても削減をされるということになり、財政負担の削減に大きくつながる。
- ・議員報酬の引上げにより、年間で1,700万円程度の議会費が上がることになる。相応の費用削減が必要。

■報酬審議会からの答申の付帯意見や民意に応えるべき

- ・報酬審議会の答申書の付帯意見に応じていかなくてはならない。
- ・民意は定数減だと思う。

■過去の実績から

- ・定数28名のところ、欠員2名の26名でやってきた実績がある。
議会運営や委員会質疑などについては、特に大きな不具合はなかったため一定の検証がなされたと考える。
- ・議員数が減っても議会が回らない、議会に問題があったという認識はないので、幾らでもやり方はある。
- ・定数36名から段階的に削減されてきたが、それによって、議会の機能や役割が低下したということはない。

定数減 11名

■定数が減っても問題・影響はない

- ・函館市は人口が27万7,000人に対して議員定数は27名というのを考えると出来ないことはないと思う。
- ・本市は重要な懸案事項はあるが、2議席削減でも対応が可能だと考える。
- ・体制を長く安定的に運用するというので24名、定数4減を提案したい。
- ・市民の多様な意見や少数意見を行政に届ける、そういった行政側の仕組みづくりが整ってきており、民意を吸い上げることにしっかりとつながってきていると思う。
- ・常任委員会の活性化は複数所属という運用でクリアできる。
- ・常任委員会等の構成変更も含み、議会運営上の工夫により議会機能を維持充実させていくことは可能と考える。

■議会改革を進めるべき

- ・議会の活性化、議会改革がどんどん進んできてる。それを先に進めるということが、今求められている。
- ・意見交換会を積極的に進めるなどで、議会機能を充実させることも可能。

■定数を減らすことのメリット

- ・意見がまとまりやすくなる。
- ・選挙において従前より多くの支持を得られる。

定数増 1名

- ・幅広い意見を集約するには定数を増加させるべき。

その他

- ・議員定数の基準や指標を作るべき。
市民に対して、信頼される議会であるべきで、わかりやすさというものも議会の役割である。
- ・他の自治体や市では、議員定数に関して、市民アンケートをとっている例もある。
市民アンケートを実施し、幅広く市民の声を聞いてから結論を出しては。
- ・定数が削減になった場合は、常任委員会の在り方も並行して検討する必要がある。